

熊本地震から一年 ~「心の防災力」を高めましょう~



地震被害の調査（装飾古墳館）

て、みんなが助かるんだよ」ということなのです。私はこれこそ、古来より大災害に襲われて来た地方の人々が、犠牲を最小限に食い止めるための最高の教えだと思い感服しました。

考えてみると、私を含めてこれからもずっと山鹿で人生を送る人たちには「山鹿にや大地震は来んけん大丈夫」と思っていても済みましょうが、私たちの子や孫達はどうでしょうか？

山鹿の若者の方々は、進学や就職を機に山鹿を離れ、熊本市は言うに及ばず、他の都道府県あるいは海外に移り住む可能性さえ大いにあります。そうなれば、山鹿での生活と比べて、大地震や大災害に遭遇するリスクが増加するであろうことは自明の理です。

どうか皆様、熊本地震という反面教師の教訓が身近にある今こそ、私たち自身が「心の防災力」を高めた上で、釜石の「てんでんこ」に習って、子や孫達がより安全な人生を送ることができるよう、是非共「山鹿版てんでんこ」を作り、教え継いで行こうではありませんか。

東日本大震災以降被災地では初めてとなる「2016希望郷いわて国体」が開催され、熊本県からも、熊本地震の影響を受け練習場所の確保するままで、必死に準備を重ねて来た選手たちが元気に参加しました。

私も、県議会教育警察常任委員長を務めておりますことから、選手団顧問に加えていたとき、初めて国体に参加する貴重な機会を得ました。1日限りの岩手滞在でありますましたが、この間熊本県選手

られた岩手の人々が、今この時心から熊本を励まして頂いていると思うと、胸が一杯になり嬉し涙が溢れました。そして、私は大歓声に包まれて行進をしながら、「困った時はお互い様、快く助けられたり助けたりを繰り返しながら、この国をそしてこの国の人々を護つて行かなければならないのだ」と固く固く肝に銘じました。

A group of approximately 15 people, mostly men in dark suits and white shirts, some wearing hard hats, are standing behind a long green banner. The banner features large red Japanese characters '元気と勇気をありがとう' (Thank you for your energy and courage) on the left, a black bear logo in the center, and the text 'がんばるモン!' (Mon! Go for it!) in large blue letters on the right. Below the main text, smaller text reads '公益財団法人長野県体育協会' (Nagano Prefectural Sports Association). They are positioned in front of a large stadium with a tall light pole and a clear blue sky in the background.

岩手国体に参加して
（感謝、感動、そして感涙）

岩手国体に参加して
、感謝、感動、そして感涙、

熊本地震発生以降の地震回数 (H28/4/14 ~ H29/2/28)										
震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4	3	2	1	合計
H28年4月	2	2	3	5	10	98	323	859	1,722	3,024
5月						8	43	134	344	529
6月						1	4	14	51	147
7月						1	8	19	85	113
8月						1	2	3	28	77
9月						2	7	16	49	74
10月							4	10	41	55
11月							1	1	16	24
12月							3	10	31	44
H29年1月						1	1	8	22	32
2月							1	4	13	18
合計	2	2	3	5	12	117	408	1,155	2,555	4,259

*H28年4月は14~30日

熊本地震の被災状況 (H28年4月～H29年2月)		
	熊本県計	山鹿市
人的被害 死 亡	50人	0人
震災関連死	149人	0人
重 傷 者	1,119人	0人
輕 傷 者	1,549人	4人
計	2,867人	4人
住家被害 全 壊	8,651棟	0棟
半 壊	33,179棟	17棟
一部損壊	142,907棟	471棟
計	184,737棟	488棟

A group of police officers in blue uniforms are standing in a line under umbrellas during a rain shower. They are holding clear plastic umbrellas and some have their hands on their hips. The ground is wet and reflective.

巾をかぶる、非
用リュックを背
う、慌てて外に
ない」等々の安
対策を暗唱出来
までに教え込
れています。こ
ういう話を
きますと、すぐ
思い出すのは東
大震災の際の「

H29/2/28)					◆熊本地震の震度と回数
3	2	1	合計		月の大雪に始まり、4月の熊本地震、6月の豪雨、8月の異常高温、そして10月には阿蘇中岳爆発的噴火と、相次いで自然災害に見舞われました。
323	859	1,722	3,024		
43	134	344	529		
14	51	147	217		
8	19	85	113		
3	28	77	111		
7	16	49	74		
4	10	41	55		
1	16	24	42		
3	10	31	44		
1	8	22	32		
1	4	13	18		
408	1,155	2,555	4,259		

◆熊本地震の被害状況

いうのが、大方の専門家の見方であり、私たち県民も十二分に備えておく必要があることは申すまでもありません。

れおり、メンバーは「県議会議長・副議長・議会運営委員・常任委員長」で構成されるところから、私も教育警察常任委員長として加わりました。まことに彼等大兄の呪屋の如き

◆「心の防災力」の大切さ
大地震から1年、最近気になつて仕方がなつことがござり添い続けてまいる所存です。